



2026年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年12月8日

上場会社名 ミライアル株式会社 上場取引所 東
コード番号 4238 URL <http://www.miraial.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 兵部 匡俊
問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 羽山 哲生 TEL 03 (3986) 3782
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年1月期第3四半期の連結業績（2025年2月1日～2025年10月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年1月期第3四半期	9,402	△8.5	465	△55.1	519	△53.0	397	△47.4
2025年1月期第3四半期	10,271	△0.2	1,037	△26.3	1,104	△24.9	756	△24.1

(注) 包括利益 2026年1月期第3四半期 445百万円 (△39.3%) 2025年1月期第3四半期 733百万円 (△24.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年1月期第3四半期	44.04	—
2025年1月期第3四半期	83.93	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年1月期第3四半期	27,005	22,677	84.0	2,509.08
2025年1月期	28,522	22,496	78.9	2,490.46

(参考) 自己資本 2026年1月期第3四半期 22,677百万円 2025年1月期 22,496百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年1月期	—	20.00	—	20.00	40.00
2026年1月期	—	10.00	—		
2026年1月期（予想）				40.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2026年1月期の連結業績予想（2025年2月1日～2026年1月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,780	△8.7	640	△55.4	700	△53.8	690	△34.8	76.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 無

新規 ―社 (社名)―、除外 ―社 (社名)―

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年1月期3Q	10,120,000株	2025年1月期	10,120,000株
2026年1月期3Q	1,081,705株	2025年1月期	1,086,885株
2026年1月期3Q	9,035,810株	2025年1月期3Q	9,017,914株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料はT D n e t で同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(四半期連結貸借対照表に関する注記)	10
(四半期連結損益計算書に関する注記)	10

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当社は、新たなステージでの長期ビジョンを実現する第3創業期に向けた土台作りの5年として、2028年度をターゲットとする5カ年の中期成長戦略2028を昨年策定しました。半導体市場の成長と市場シェア拡大を見据え、安定供給できる体制を構築するため、生産能力増強や自動化等による効率化のための投資を進めています。

このような経営環境の中、プラスチック成形事業は、ウェーハ在庫調整は底打ちしたとみられるものの、需要の回復はまだであり、全体として回復は緩やかなものとなりました。成形機事業は、自動車業界の需要の失速等の影響を受け、受注状況が軟調に推移している一方で、部品に関しては安定供給される状況が維持されました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は9,402百万円（前年同期比8.5%減）、営業利益は465百万円（前年同期比55.1%減）、経常利益は519百万円（前年同期比53.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は397百万円（前年同期比47.4%減）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりです。

（プラスチック成形事業）

当第3四半期連結累計期間の売上高は8,508百万円（前年同期比5.8%減）、営業利益は868百万円（前年同期比37.2%減）となりました。

（成形機事業）

当第3四半期連結累計期間の売上高は1,097百万円（前年同期比22.2%減）、営業利益は133百万円（前年同期比27.7%減）となりました。

（2）当四半期の財政状態の概況

（流動資産）

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べて2,180百万円減少し、10,748百万円となりました。これは主に、原材料及び貯蔵品の増加297百万円、現金及び預金の減少1,978百万円等によるものです。

（固定資産）

当第3四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末に比べて663百万円増加し、16,256百万円となりました。これは主に、有形固定資産の増加565百万円等によるものです。

（流動負債）

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べて1,694百万円減少し、3,797百万円となりました。これは主に、賞与引当金の増加63百万円、その他流動負債の減少924百万円、電子記録債務の減少570百万円、未払法人税等の減少290百万円等によるものです。

（固定負債）

当第3四半期連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末に比べて3百万円減少し、530百万円となりました。これは主に、繰延税金負債の減少2百万円等によるものです。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて181百万円増加し、22,677百万円となりました。これは主に、配当金の支払271百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益397百万円の計上等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

中期成長戦略2028に基づき、現在の主力であるシリコンウェーハ搬送容器事業を深耕しつつ、成長市場での事業拡大が見込める高機能樹脂製品、成形機の事業に経営資源を振り向けていきます。

今年度（2026年1月期）から企業価値向上に向けた新たな取り組みとして、更なる収益力向上による事業成長やM&A、および資本市場からの要請に沿った資本政策・財務戦略の両輪を通じて、ROEとPER向上を促進します。また、有利子負債を活用するとともに、積極的な配当や自己株式取得等、新たに株主還元を強化し、資本コスト逡減による最適な資本構成も実現します。これにより、PBR1倍を恒常的に達成し、中長期的な企業価値の最大化を目指します。

中期成長戦略2028の最終年度の2028年度（2029年1月期）に、売上高239億円、ROE11%を目指します。

今年度（2026年1月期）から、新たに配当性向の指標を「総還元性向またはDOE」に見直し、株主還元を強化します。

2028年度

- ①売上高 239億円
- ②営業利益 47億円
- ③営業利益率 20.0%
- ④ROE 11.1%
- ⑤総還元性向30%またはDOE2%のいずれか高い方を下限とした安定配当

2026年1月期第4四半期連結会計期間につきましては、インフレ率の低下や金融引き締めの緩和等により緩やかな回復が見込まれる一方で、地政学的問題の長期化等が懸念され、先行きについては依然として不透明な状況が継続するものと思われます。

このような状況の中、プラスチック成形事業は、半導体市場において、先端品の需要が旺盛な一方で、既存品の需要回復には一定の時間を要しているなか、緩やかな回復基調が継続するものと見込まれます。成形機事業は、自動車業界の動向など一部不透明な状況は継続するものの、受注状況は緩やかに回復していくと見込まれます。

以上を踏まえ、2026年1月期連結会計年度の業績予想につきましては、売上高12,780百万円、営業利益640百万円、経常利益700百万円、親会社株主に帰属する当期純利益690百万円としています。

なお、2026年1月期の連結業績予想につきましては、「2026年1月期連結業績予想および配当予想に関するお知らせ」を本日別途公表しています。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,474,413	4,495,669
受取手形、売掛金及び契約資産	※ 3,277,565	2,974,676
電子記録債権	※ 368,447	169,822
商品及び製品	926,868	975,574
仕掛品	524,514	542,564
原材料及び貯蔵品	903,611	1,200,844
その他	454,252	389,720
流動資産合計	12,929,673	10,748,872
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,855,261	13,897,908
減価償却累計額及び減損損失累計額	△4,859,753	△5,243,935
建物及び構築物（純額）	8,995,507	8,653,973
機械装置及び運搬具	8,711,996	10,043,304
減価償却累計額及び減損損失累計額	△5,973,025	△6,417,750
機械装置及び運搬具（純額）	2,738,970	3,625,553
土地	1,520,624	2,001,928
建設仮勘定	762,165	105,055
その他	5,883,082	6,206,475
減価償却累計額及び減損損失累計額	△4,837,176	△4,964,623
その他（純額）	1,045,906	1,241,852
有形固定資産合計	15,063,173	15,628,363
無形固定資産	35,641	51,855
投資その他の資産		
投資有価証券	330,668	424,944
繰延税金資産	41,252	28,199
その他	122,204	123,069
投資その他の資産合計	494,125	576,212
固定資産合計	15,592,940	16,256,432
資産合計	28,522,613	27,005,304

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年10月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	※ 416,597	430,001
電子記録債務	※ 2,123,709	1,553,081
未払法人税等	295,194	5,058
賞与引当金	258,749	322,150
役員賞与引当金	—	16,310
受注損失引当金	281	2,187
製品保証引当金	4,912	319
その他	2,392,678	1,468,139
流動負債合計	5,492,124	3,797,248
固定負債		
退職給付に係る負債	236,669	244,852
繰延税金負債	7,003	4,687
その他	290,211	280,681
固定負債合計	533,883	530,221
負債合計	6,026,007	4,327,469
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,111,000	1,111,000
資本剰余金	1,301,967	1,300,999
利益剰余金	21,645,844	21,772,733
自己株式	△1,689,455	△1,681,403
株主資本合計	22,369,356	22,503,329
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	45,246	112,122
為替換算調整勘定	20,864	18,479
退職給付に係る調整累計額	61,138	43,902
その他の包括利益累計額合計	127,249	174,505
純資産合計	22,496,606	22,677,834
負債純資産合計	28,522,613	27,005,304

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2024年2月1日 至 2024年10月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2025年2月1日 至 2025年10月31日）
売上高	10,271,774	9,402,455
売上原価	7,937,822	7,557,758
売上総利益	2,333,952	1,844,696
販売費及び一般管理費	※1 1,296,801	※1 1,378,971
営業利益	1,037,151	465,725
営業外収益		
受取利息	549	3,336
受取配当金	5,488	5,843
補助金収入	39,656	—
受取賃貸料	4,632	—
売電収入	30,748	31,756
その他	6,279	23,462
営業外収益合計	87,353	64,400
営業外費用		
為替差損	1,341	518
減価償却費	8,306	8,306
修繕費	8,450	—
その他	1,674	1,988
営業外費用合計	19,772	10,813
経常利益	1,104,732	519,311
特別利益		
関係会社清算益	※2 20,750	—
特別利益合計	20,750	—
特別損失		
固定資産除却損	※3 18,225	※3 2,325
特別損失合計	18,225	2,325
税金等調整前四半期純利益	1,107,256	516,986
法人税、住民税及び事業税	387,711	127,493
法人税等調整額	△37,329	△8,443
法人税等合計	350,382	119,050
四半期純利益	756,874	397,935
親会社株主に帰属する四半期純利益	756,874	397,935

（四半期連結包括利益計算書）
（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2024年2月1日 至 2024年10月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2025年2月1日 至 2025年10月31日）
四半期純利益	756,874	397,935
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,017	66,876
為替換算調整勘定	1,388	△2,384
退職給付に係る調整額	△24,045	△17,235
その他の包括利益合計	△23,674	47,256
四半期包括利益	733,200	445,192
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	733,200	445,192

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2024年2月1日 至2024年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報
(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	プラスチック成形事業	成形機事業	
売上高			
一時点で移転される財	8,888,616	342,304	9,230,920
一定の期間にわたり移転される財	728	1,040,125	1,040,853
顧客との契約から生じる収益	8,889,345	1,382,429	10,271,774
外部顧客への売上高	8,889,345	1,382,429	10,271,774
セグメント間の内部売上高又は振替高	142,180	28,733	170,913
計	9,031,526	1,411,162	10,442,688
セグメント利益	1,382,225	184,207	1,566,432

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,566,432
セグメント間取引消去	△3,622
全社費用（注）	△525,659
四半期連結損益計算書の営業利益	1,037,151

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術試験費です。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自2025年2月1日 至2025年10月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報
(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	プラスチック成形事業	成形機事業	
売上高			
一時点で移転される財	8,356,934	309,168	8,666,103
一定の期間にわたり移転される財	8,423	727,928	736,352
顧客との契約から生じる収益	8,365,358	1,037,097	9,402,455
外部顧客への売上高	8,365,358	1,037,097	9,402,455
セグメント間の内部売上高又は振替高	143,539	60,621	204,160
計	8,508,897	1,097,718	9,606,615
セグメント利益	868,123	133,257	1,001,380

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,001,380
セグメント間取引消去	2,393
全社費用（注）	△538,049
四半期連結損益計算書の営業利益	465,725

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術試験費です。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は次のとおりです。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年10月31日)
減価償却費	914,739千円	1,018,956千円

（四半期連結貸借対照表に関する注記）

※ 期末日満期手形等の会計処理については、前連結会計年度において、連結子会社の決算日が金融機関の休日であったため、満期日に決済が行われたものとして処理しています。期末日満期手形等の金額は、次のとおりです。

	前連結会計年度 (2025年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年10月31日)
受取手形	1,998千円	－千円
電子記録債権	1,070	－
支払手形	1,569	－
電子記録債務	28,337	－

（四半期連結損益計算書に関する注記）

※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりです。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年10月31日)
給料	189,159千円	238,918千円
運送費	265,973	230,397
賞与引当金繰入額	47,461	38,055
役員賞与引当金繰入額	19,745	16,310
退職給付費用	9,669	12,571
製品保証引当金繰入額	△10,179	△308

※2 関係会社清算益

前第3四半期連結累計期間（自 2024年2月1日 至 2024年10月31日）

関係会社清算益は、非連結会社である有限会社創進ケミテックの清算に伴う利益です。

当第3四半期連結累計期間（自 2025年2月1日 至 2025年10月31日）

該当事項はありません。

※3 固定資産除却損

前第3四半期連結累計期間（自 2024年2月1日 至 2024年10月31日）

固定資産除却損は、非連結会社である有限会社創進ケミテックへ賃貸していた埼玉工場を、有限会社創進ケミテックの会社清算及び老朽化により解体した工事費用等に伴う損失です。

当第3四半期連結累計期間（自 2025年2月1日 至 2025年10月31日）

固定資産除却損は、その他有形固定資産の処分によるものです。